

世界の舞台で活躍 ——— これまでの道のり



3 スケートボード日本OPEN 2023笠間大会優勝



1 幼少時代から笠間市や千葉県、埼玉県などの施設で練習に励んできました。難易度の高い技が成功した瞬間のうれしさは格別だと言います



6 2025年11月エクス ポージャーLA



5 X Games ソルトレイクシティ2025
バート種目：ラン優勝、トリック2位



2 X Games千葉2023



4 WSTローマ2025パーク、優勝。パリ五輪の金メダリストなど、強豪を抑えて初の世界一に輝きました

国・県・市から表彰



昨年、文部科学大臣賞、茨城県知事特別功労賞、古河市スポーツ功労賞を受賞。「国・県・市」からのトリプル受賞です

長谷川選手からのメッセージ



スケートボード競技を目にする機会は多くないと思いますが、国内外の大会映像はYouTubeなどの動画配信サイトで見ることもできるので、少しでも興味を持ってもらえればうれしいです。良い結果が出せるよう頑張っていますので、応援よろしくお願いします！



観客を楽しませたいという思いは
ずっと変わらない。

自分の可能性を最大限伸ばし、
競技を盛り上げていきたい

Profile

2010年10月15日生まれ。
山梨県出身→古河第二中学校。スケートボードのパーク種目とバート種目の二刀流で、数々の世界大会で快挙を達成。得意なトリックは540(ファイブフォーティ)



スケートボード選手 長谷川 瑞穂(15歳)

スノーボード選手だった母の影響で、5歳からスケートボードを始めた長谷川選手。2年前から海外遠征で世界各地を回ることも増え、さまざまな大会に参加してきました。その間、パリ五輪選考での落選や、人生で初めてのけがなど挫折も経験しましたが、昨年6月にイタリアで開催された世界大会で初優勝。さらに10月の日本選手権でも優勝を飾るなど、昨年はまさに飛躍の年となりました。練習は毎日5時間程度。自身の武器である「高さ」に磨きをかけるため、昨年からはフィジカルトレーナー指導の下で筋力アップにも取り組んでいます。また練習中は後輩に指導する機会が増え、コミュニケーションを通じて精神的にも成長できたと感じているそうです。昨年、文部科学大臣賞を受賞した際の「競技が社会的に広く認知され、後輩たちのやりやすい環境づくりにつながればうれしい」という言葉は、スケートボードが本当に好きだからこそその発言に他なりません。

トップ選手となった今でも、自分は常に追う立場と謙遜する長谷川選手。技やスタイルが千種万様のスケートボードで、自分だけの特筆できる姿を見せたいと、真摯な姿勢で日々の練習に取り組みんでいます。2年後、ロサンゼルス五輪での活躍が今から楽しみです。